

=====
子どもファーム・ネット通信 No.12

2009年7月28日発行

子どもファーム・ネット 公式ホームページ
(<http://www.kodomofarm.net/>)

=====

全国各地の小・中学校やJAでの食農教育活動を取り上げたニュースを紹介します(日本農業新聞の記事から)。

【インデックス】

(1) 育てた小麦で冷汁うどん 伝統料理に理解
/ 埼玉県加須市立大越小の児童
(2009/07/18 南関東版)

(2) 農作物の1年 映像に DVDを児童へ配布
/ JA大阪中河内
(2009/07/16 JA面)

=====

(1) 育てた小麦で冷汁うどん 伝統料理に理解
/ 埼玉県加須市立大越小の児童
(2009/07/18 南関東版)

=====

加須市立大越小学校で16日、自分たちで育てた小麦で作った「冷汁うどん」を食べる会が催された。栽培品種は「あやひかり」。作ったのは地元の伝統料理とあり、貴重な食農教育体験となった。

使った小麦粉は、昨年11月に全校生で種をまき、麦踏み、土入れなどの管理作業をして6月19日に収穫したもの。うどんづくりは前日スタート。学校応援団や地元で食育に取り組む大越美土里の会の協力で始まった。

小麦粉をこねてうどん玉を作り、1、2年生が足踏みをして一晚寝かせた生地を、3~6年生が翌日、めん棒で延ばし、切ってうどんに仕上げた。

冷汁の具材は学校ファームでとれたキュウリ、シソなど。みそも地元女性部の「浮野みそ」を使った。冷汁はPTAが担当した。

ゆで上がったうどんは、体育館に集まって全員で試食した。全児童による初めての挑戦で、「とてもおいしい」と満足そうな様子だった。

試食会では6年生の佐藤陽(みなみ)さんが「日本の小麦の自給率が低いことを社会科で勉強しました。多くの人たちにお世話になりました。これからも農業体験したいと思います」と感謝の言葉を述べた。

羽鳥孝司校長も、初めての企画での出来栄に満足で、「これから皆さんの協力で食農・食育教育に力を入れていきたい」と話した。

=====
(2) 農作物の1年 映像に DVDを児童へ配布
/ JA大阪中河内

(2009/07/16 JA面)

JA大阪中河内は、管内で作られる農作物の1年の流れを紹介するDVD「田と畑の1年」を初めて製作し、管内の全小学校に無料配布した。クイズやJAの紹介も盛り込んでいる。

JAでは「農業に触れたことがない子どもにまず映像で興味を持ってほしい」と話す。DVDは、管内の小学校の食農教育に役立ててもらおうと、昨年5月から1年かけて作った。管内の特産であるエダマメや若ゴボウ、トマト、ブドウ、米を栽培する農家に、営農経済部職員が中心になって密着取材。1年間の農作業の流れを、各品目ごとに映像で確かめることができる内容に仕上げた。

映像には、JAでの共同選果や学校給食センターでの調理、児童が食べ物として口にしている場面も収録し、農作物が身近なものとして感じられるよう工夫した。農家が喜びや苦勞を語るインタビューのほか、JA管内で作られている作物に関するクイズも盛り込んだ。

DVDは約400枚製作。7月初旬に東大阪市、八尾市、松原市、柏原市の小学校など教育関係者に配布した。

.....
グループ登録について

グループ登録は毎年更新の手続きが必要になります。グループ登録を希望される方は、下記の登録フォームに必要事項を入力して送信して下さい。

http://www.kodomofarm.net/entry/index.html

=====

本メールは、これまで「子どもファーム・ネット」にグループ登録を頂いている代表者の方に配信しております。

また、配信をご希望されない方は、お手数ですが下記のE-Mailアドレスにご連絡下さい。
jimukyoku@kodomofarm.net

お問い合わせ

本メールに関するお問い合わせは、kodomo@kodomofarm.netまでご連絡下さい。

=====

発行 全国子どもファーム・ネット推進協議会
〒100-6837 東京都千代田区大手町1-3-1

Copyright(C) 全国子どもファーム・ネット推進協議会 2009

---掲載記事の無断転載を禁じます---

=====